

大規模災害時に備え 住民による「避難所」運営訓練

はじめの一步



6月19日、八本松住民自治協議会防災対策委員会(住民自治協、地区自主防災会長、民生児童委員で構成する委員22名)は各自治会長さん等住民の皆さん(56名)の参加を得て八本松地域センターで「避難所開設・運営訓練」を行った。

この訓練は、大規模災害が発生時、行政による避難所の開設・運営の対応が困難なため、住民が助け合って運営できるように体験を積むもの。特に初期期は避難所の開設、受け入れ、運営と多忙で事前の経験が重要である。当日は雨天のため避難者(住民の皆さん)



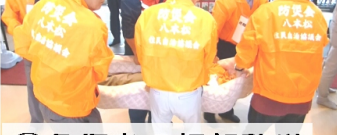
⑤名簿のチェック(前)と情報整理(後)



⑥避難場所の指示と誘導



⑦要配慮者の受付と誘導



⑧負傷者の担架移送



学校週五日制対応事業 青少年育成部会
将棋教室
青少年育成部会は7月2日西条の将棋道場の先生と広島大学将棋部の学生さんを講師に迎え、地域センターで「小学生将棋教室」を開いた。参加した児童は42名で初めての子供を含む初級者が過半数を占め、にぎやかで楽しい将棋教室となった。特に広大生の皆さんの教え方は子ども

もたちの目線で初心者にわかりやすく人气的となった。指導にあたった広大生の松本さんは「みんな呑み込みが早く直ぐに強くなりそうです。将棋は一人で考える道を開くゲームですが人生を処す力にもなります。初心者の方もぜひ続けてほしい」と語った。

んの待機場所を屋内に変更し、受付、名簿記入、台帳作成、避難者誘導、要配慮者支援等の訓練を反復し避難者も運営者(防災対策委員)も種々なケースを体験した。また、訓練後

「三角巾の使い方」(消防署西分署)、「簡易トイレと問仕切りの作り方」(市危機管理課)、「避難所運営ビデオと熊本避難所体験講話」(市社会福祉協議会)の講習が行われた。

参加者のアンケートで「受付は込み合っで臨場感はあったが本番での混乱を避ける工夫が必要」。「初めての体験で最初は戸惑ったが反復訓練でイメージがわかってきた」との意見が出された。防災対策委員会の中曾委員長は「初めての試みで不備な点があったと思うが、この経験を各地域での避難所開設・運営の第一歩としていただきたい」と述べた。

ガンバレ！球技の部

総合優勝奪還を目指して 市民スポーツ大会

第28回東広島市民スポーツ大会で2年前の総合優勝の返り咲きをねらい球技の部のグラウンドゴルフ予選会が7月16日に八本松市民グラウンドで行われた。この日は早朝より暑いなか41名の愛好家の皆さんが日頃つちかした実力で市民スポーツ大会代表選手の手を競い合った。選手に選ばれた上位の男女各6名の皆さんは大会に向けて引き締まった表情。自身もトップで選手に選ばれた細工体育振興部会長は「私



グラウンドゴルフ代表選手に決まった皆さん

広がるわが町の防災対策

最近、八本松地域の自主防災対策が東広島市内のメディアに取り上げられ、他の地域のモデルとして紹介されてきている。特に住民自治協を範囲とする避難所の開設・運営訓練は市内では初の取組で



FM東広島に出演した信国副会長(右) 左はFM東広島の井上さん